

国際化学肥料ニュース（2011 年 1 月）

肥料業界の 2011 年 1 月動態

- * スリランカ新聞の報道によると、スリランカ耕地と野生生物省長官 H. M. Chandrasena はスリランカ政府が国内肥料産業を発展させるために化学肥料の輸入を制限する。その代わりにスリランカ化学肥料社（SLFC）に資金を投入してより多くの国産化学肥料を生産する計画である。
- * 1 月 13 日、BPC は中国化学肥料と中国農業生産資料との間に 2011 年上半期加里肥料売買契約を締結した。BPC が中国 2 社に CFR400 ドルの価格で塩化加里 60 万トンを提供する。昨年の価格より 50 ドル/トン値上げした。また、Canpotex も中国化学肥料に 2011 年上半期に 60 万トン塩化加里の供給契約を締結した。値段が非公開であるが、BPC の価格と同様ではないかと推測した。
- * ドイツの K+S 社はブラジルに 2～3 月の大粒塩化加里価格を提示した。CFR440～450 ドル/トン。また、EU 内の化成肥料メーカーとの間に納入価格として結晶塩化加里 403 ドル/トン、大粒塩化加里 436 ドル/トンで決着した。2010 年より約 50 ドル/トン値上げた。
- * Mosaic 社は世界肥料需要予測を発表した。2010 年世界のりん酸肥料出荷量は 5700 万トン、2011 年は 5900～6100 万トン、加里肥料は 2010 年出荷量が 4970 万トン、2011 年が 5300～5600 万トンに達すると予測。北米と南米が肥料の需要が旺盛で、11 月 30 日現在、アメリカの MAP と DAP の在庫量が 48.8 万トン、北米の塩化加里在庫量が 160 万トン、昨年同期の半分しかなかった。
- * 中国政府は 2011～2015 年の第 12 期 5 ヶ年計画期間に窒素肥料メーカーを 250 社まで再編し、特に年間尿素生産能力 100 万トンを超える競争力のある 20 の企業グループを養成する計画を作成中。2010 年中国の窒素肥料需要量（N 計算、以下同）が 3250 万トン、工業用 800 万トン、輸出 300 万トン。2015 年に窒素肥料需要量が 4350 万トンに達し、その内訳は尿素 66%、炭安 6.5%、塩安 7.5%、硫安 4.4%、残りはりん安等の化成肥料にする。
- * 中国国家统计局が 2010 年の化学肥料生産量を公表した。総生産量は 6619.8 万トン（純 N、P₂O₅、K₂O 計算）、2009 年より 163 万トン、2.52%増加した。
各肥料種類の生産量（実物）は、尿素 5740.2 万トン、リン安（MAP、DAP）2329.9 万トン、塩化加里 396.8 万トン。また、2010 年の化学肥料輸出量は、尿素 702.7 万トン、

DAP398.8 万トン、重過石 121.3 万トン。

- * 1 月 21 日、インドネシア政府が 57 種類の輸入関税を撤廃した。小麦、大豆、化学肥料、家畜飼料が含まれている。インドネシアは 12 月の消費者物価指数が 6.96%上昇し、特に食品価格の上昇が大きいウェートを占めている。インドネシア政府は国内米価を安定させるため、すでに米の輸入関税を撤廃した。
- * インド Economic Time 紙の 1 月 25 日の報道によると、インドの化学肥料産業は政府から 1 兆ルピー（約 1.8 兆円）の補助金を受けることになる。理由は国際化学肥料価格の上昇により、輸入肥料の費用が嵩むが、国内販売価格が政府の統制下にあり、費用の転嫁ができないとのことである。
- * パキスタンは尿素と DAP が不足で、緊急輸入になった。1 月 31 日、パキスタン経済協調委員会（ECC）が国営のパキスタン貿易（TCP）に 22.5 万トン尿素を緊急輸入するよう指示した。理由は当国の民間企業が尿素を輸入することを拒否したためである。また、国営の Fauji 社は 1～2 月 DAP 生産量が天然ガス供給不足により 5～5.5 万トン減産する。それを受け、2011 年に 90 万トンの DAP が輸入する必要がある。
- * ベラルーシ財政省が加里肥料の輸出関税を引き上げることが示唆した。現在塩化加里の輸出関税が 50 ユーロ/トンであるが、75 ユーロ/トンに引き上げる予定。ベラルーシ 2010 年 1～11 月の塩化加里生産量は 482.1 万トン。
- * ロシア連邦反独占局長は 1 月 26 日に化学肥料の国内販売価格がこれから 2 年間に凍結させることを宣告した。各肥料会社がこの政府決定を支持するとのこと。

大手各社の営業業績

- * Mosaic 社が 1 月 4 日に 2010 年度第 2 四半期（9 月～11 月）の業績を公表した。肥料部門全体の粗利益 10 億ドル。その内訳は加里肥料売上高 6.99 億ドル、営業利益 2.852 億ドル、りん酸肥料売上 20 億ドル。なお、該社の平均販売価格は塩化加里 331 ドル/トン、DAP461 ドル/トンであった。
- * ロシア Uralkali 社は 2010 年塩化加里生産量 510 万トン、2009 年より 90%増え、また、Silvinit 社は 2010 年塩化加里生産量 520 万トン、2009 年より 50%増えたと発表した。この 2 社は今年 6 月末合併する予定で、合併後の生産能力は 1150 万トンを超え、世界第 2 位の加里肥料メーカーになる。

1月の大口契約と輸出：

- * NF Trading は FCI に FOB380 ドル/トンで 4 万トン小粒尿素、FOB395 ドル/トンで 2.5 万トン大粒尿素を販売した。
- * スリランカ農業省が 1 月 7 日の尿素入札結果を発表、Valency 社 CFR454.68～4656.80 ドル/トンで 3.6 万トン、ETA 社 CFR479.97 ドル/トンで 2.4 万トン、すべて 3 月納品。
- * ATF は FOB373～376 ドル/トンで計 3～4.5 万トン尿素を輸出、まだ 4～5 万トン在庫ある。
- * 中東の PIC は FOB400 ドル/トンで 2.5 万トン大粒尿素を Balderton/Yara に販売、1 月末ブラジルに輸出。
- * イランの PCC は FOB385 ドル/トンで大量の尿素を販売した。ただし、会社名と輸出先、数量を公表しない。また、ある貿易商を通じて FOB380 ドル/トンで 2.35 万トンアンモニアをインドに輸出した。また、2 月分のアンモニアは FOB400 ドル/トン提示された。
- * クウェートの PIC が FOB400 ドル/トンで Ameropa に 2 万トン尿素を販売した。輸出先はスーダン。
- * Gorlovka は FOB370 ドル/トンで Toepfer/ADM に 2.5 万トン尿素を販売、輸出先はブラジル。また、Ameropa に 2.5 万トン尿素を販売、輸出先はチリ。
- * トルコの Igsas は FCI から CFR395～400 ドル/トンで 6000 トン尿素を購入した。また、Kastamonu は 1 月 19 日に 6000 トン尿素の入札を行った。
- * バングラデシュは 12 月から 1 月にチュニジアから計 7.5 万トン、モロッコから 2.5 万トン DAP を輸入した。当地の農家は伝統の重過石から DAP への転換が進んでいる。
- * エチオピアの AISE は 1 月 18 日に 3 万トン DAP の入札を行った。JPMC はヨルダン産 634.12 ドル/トン、Ameropa はロシア産 662.27 ドル/トン、Yara はモロッコ産 675.8 ドル/トン、Indagro はチュニジア産 679 ドル/トン（すべて CFR 価格）で応札した。
- * チュニジア GCT は FOB570 ドル/トンで 2～2.5 万トンをメキシコに、2.5～3 万トンをパキスタンに輸出した。
- * スリランカの MoA 社が 4.8 万トン尿素、1.2 万トン重過石、2.4 万トン塩化加里の入札を行った。

肥料プラント新規建設

- * パキスタン Engro 社は 1 月 5 日に Daharki にある世界最大の尿素工場が完成し、生産開始と発表した。この新工場は尿素生産能力年間 130 万トン、投資額 11 億ドル。これにより、Engro 社の尿素生産能力は 230 万トン/年に達する。なお、パキスタンの年間尿素需要量は約 620 万トン、国内生産量は 520 万トン。この工場の完成により、国内尿素の需要量と供給能力がほぼ同様となり、尿素の輸入が必要なくなる。

- * ルーマニア政府は昨年 10 月に化学肥料メーカーに天然ガスの補助金を廃止した影響を受け、当国最大の肥料メーカー InterAgro 社は 2011 年 1 月 1 日から Viromet のメタノール生産設備と Nitroporos Fagaras の硝安生産設備を永久閉鎖した。InterAgro 社の子会社 GAPRO も Piatra Neamt 工場を同様の理由で閉鎖した。
- * オーストラリア CSBP 社は硝安生産を拡大する計画を発表した。現在ある 2 工場の生産能力増強に加え、第 3 の工場を建設する。計画通りに完成すれば、CSBP 社の硝酸生産能力は 72 万トン/年、硝安生産能力は現在の 52 万トンから 93.6 万トンに達する。CSBP 社は西オーストラリア農業グループ (Australia's Wesfarmers) に所属する会社である。
- * BHP の悪意買収が失敗した結果を受け、Potash Corp の CEO Garth Moore は 2005~2015 年の 10 年間に 69 億ドルの資金を投入し、塩化加里生産能力を 1710 万トン/年にすると述べた。現在 Cory 工場の 2 期工事がほぼ完成、年間生産能力が 270 万トンに達する。また、Allan 工場の設備増設が完成すれば、年間生産能力も 270 万トンに達する。生産能力 180 万トンの Brunswick 工場の建設も順調で、2014 年完成予定。
- * ウズベキスタン国営の Uzkhimprom 社は昨年 9 月に完成した生産能力 20 万トンの塩化加里工場に続き、2011 年第 1 四半期から 40 万トンの新塩化加里工場を建設すると発表した。投資額 2.5 億ドル、2014 年完成予定。ウズベキスタンはトルクメニスタンの国境付近で加里鉱山が発見、埋蔵量が 4 億トン、塩化加里平均含有率が 36.8%

その他

- * アルジェリアのリン鉱石輸出が復調。2010 年輸出 150 万トン、平均単価 FOB80~90 ドル/トン。アルジェリアのリン鉱石埋蔵量は約 20 億トン、主に南米と東南アジアに輸出している。
- * モロッコ 2010 年 1 月~11 月のりん酸肥料とその副産物の輸出量は 1473 万トン、金額 38.2 億ドル。
- * 中国 2010 年食糧生産量は 5.46 億トン、食糧備蓄 2 億トン。但し、食糧自給率が 95% しかなく、大豆消費量の 90%、トウモロコシ消費量の 10% は輸入に依存している。今後、中国政府は米、小麦、トウモロコシの完全自給を目指し、食用油の 40% を自給できるように食糧安全保障計画を立てた。
- * カナダ Compass 社は同国の硫酸加里メーカー Big Quill 社を買収した。買収金額は 5630 万ドル。

- * カナダの **Talon Metals** 社はブラジル東部 Sergipe 州にある加里鉱山の採掘権を Rio Verde 鉱産に譲渡した代わりに Rio Verde 社の 50.5%株式を所有する。**Sergipe 州の加里鉱山**はヴァーレ社の持つ加里鉱山に近く、注目されている。
- * 中国化学肥料輸出関税の抜け道として、NK 化成肥料の輸出が急増した。2010 年 1～11 月に計 58.36 万トン輸出した。主な輸出先はインド（29.92 万トン）と東南アジア諸国。同時期に NPK 化成肥料の輸出量は 3.1 万トンしかなかった。
- * アメリカ Cargil 社は所有している Mosaic 社の 2.86 億株（Mosaic 社株式の 64%）を株主と債権者に譲渡した。譲渡金額は 243 億ドル、その一部は Cargil 社の 90 億ドルの債務返還に充てる。なお、BHP とブラジルのヴァーレはその株式を購入する意思があると報道された。
- * チュニジアの政局不安を受け、GCT 社は客先に 1 月に納品予定の一部製品の納品延期を通告した。但し、2 月から正常に戻るとのこと。